

佐賀江川

広域基幹河川改修事業

事業目的

流下能力不足による浸水被害が発生

平成2年7月洪水

浸水戸数 12,614戸

(床上浸水:1,116戸、床下浸水:11,948戸)

農地浸水面積 5,447ha

浸水被害の軽減を図る

- ・流路是正、狭窄部解消を実施
- ・治水安全度の向上を図る

計画流量 $240 \text{ m}^3 / \text{s}$

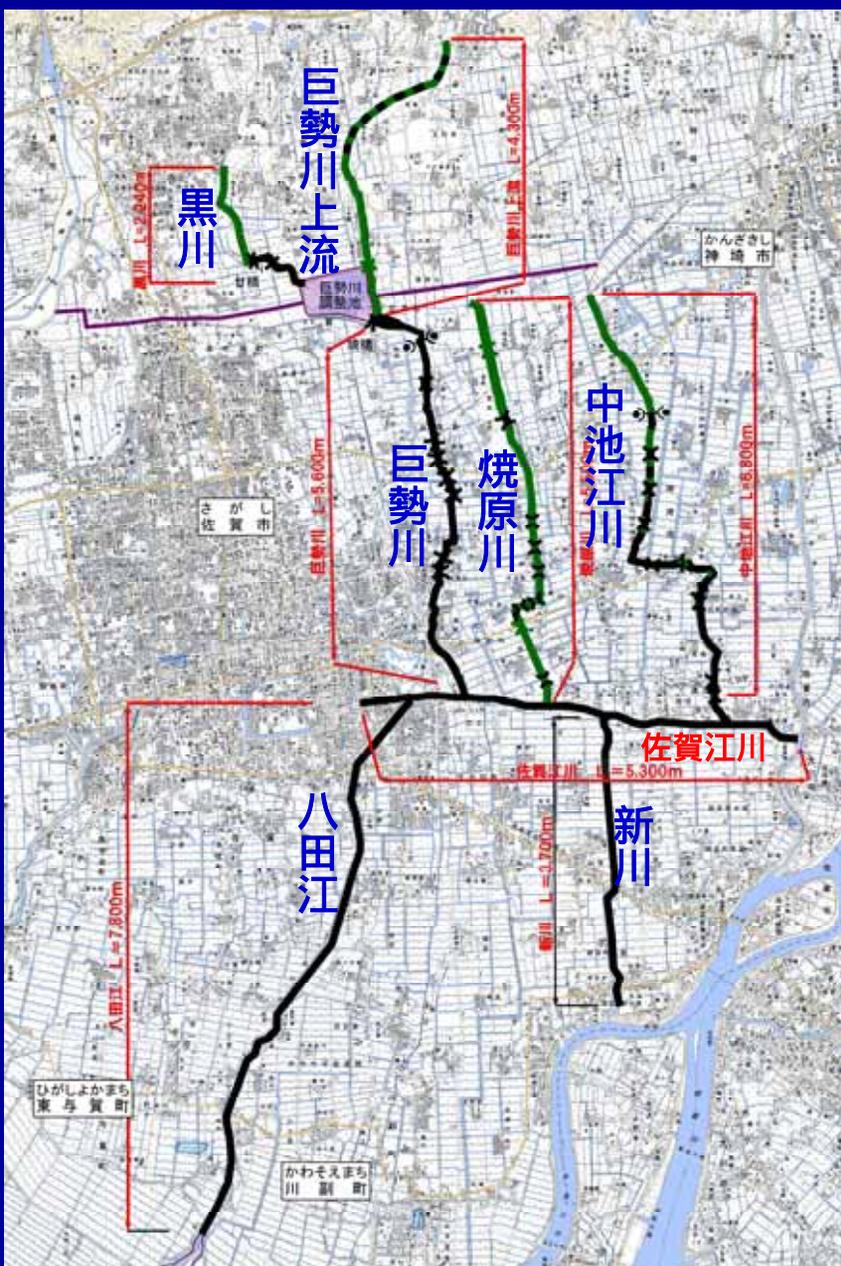
計画治水安全度 $1 / 50$

事業概要

〈事業採択〉 佐賀江川

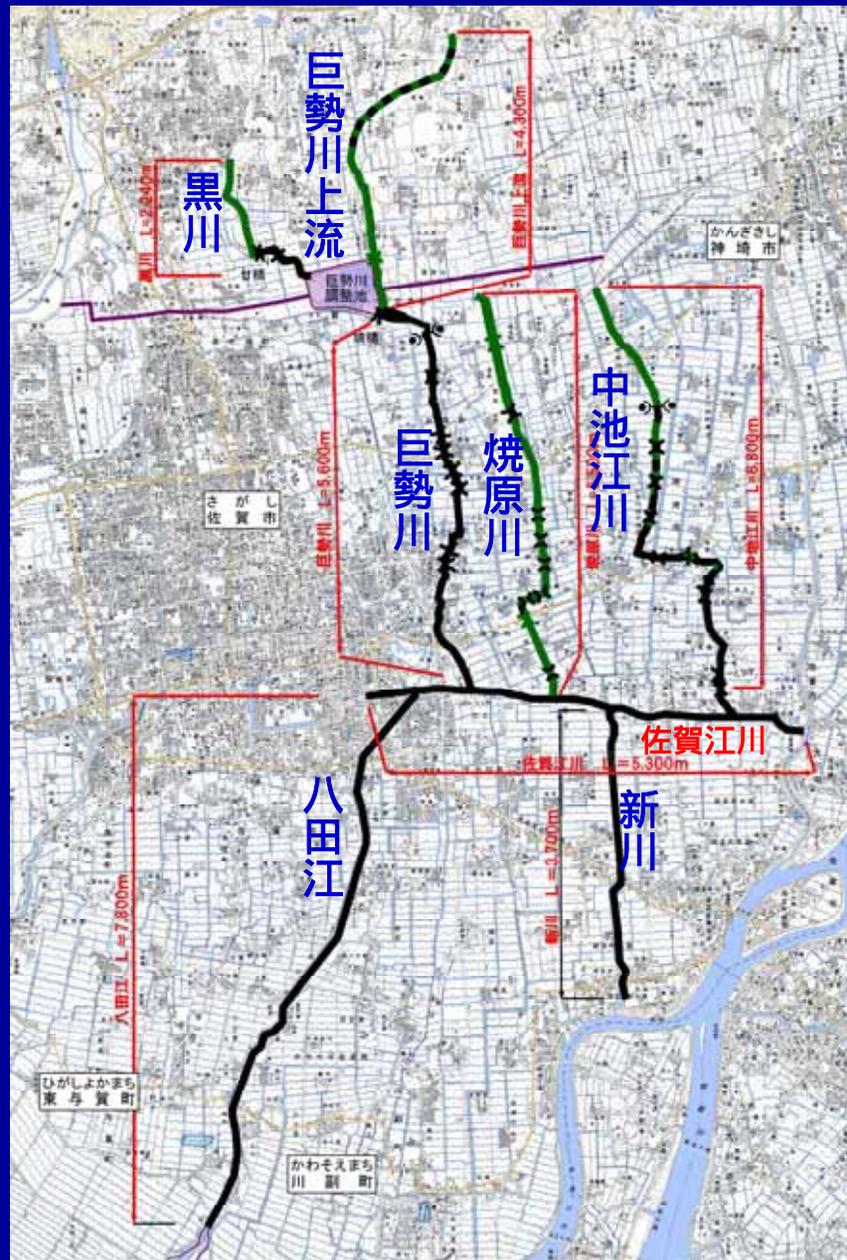
〈工区〉

佐賀江川、新川、八田江、巨勢川、
中池江川、巨勢川上流、黒川、焼原川



着手年度	昭和48年
事業地	佐賀市、神崎市
全体事業費	50,200百万円
事業期間	S48 ~ H35
改修延長	41,240m
計画流量	240m ³ /s
計画治水安全度	1/50
実施内容	掘削・築堤・護岸、樋管73基、橋梁57基、堰16基
費用対効果	5.1

事業進捗状況



昭和48年度 佐賀江川河川改修事業着手
 (佐賀江川、新川、八田江、巨勢川、中池江川)
 平成1年度 焼原川工区改修工事着手
 平成2年7月 梅雨前線豪雨
 平成2年度 巨勢川上流工区改修工事着手
 平成4年度 黒川工区改修工事着手
 平成6年度 新川工区改修工事完了
 平成7年度 八田江工区改修工事完了
 平成14年度 佐賀江川工区改修工事完了
 平成15年10月 筑後川水系河川整備基本方針策定
 平成20年度 巨勢川工区改修工事完了予定

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1 / 50
計画流量	240 m ³ /s
事業延長	41,240 m
築堤	100,228 m ³
掘削	1,254,670 m ³
護岸	65,734 m
道路橋	57 橋
樋管	73 基
井堰	16 基
全体事業費	502億円

工種	進捗率
全体事業費	86%
工事費	81%
用地及び補償費	97%

(事業費ベース)

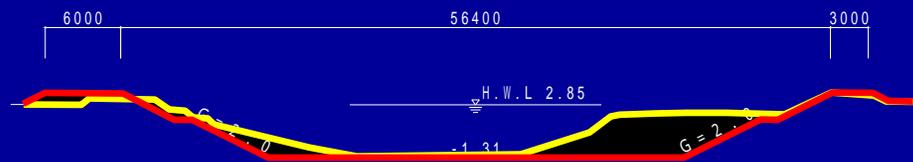
事業進捗状況

佐賀江川工区

位置図



標準横断面図



— 改修前
— 改修後

事業概要

工種	進捗率
全体事業費	100%
工事費	100%
用地及び補償費	100%

(事業費ベース)

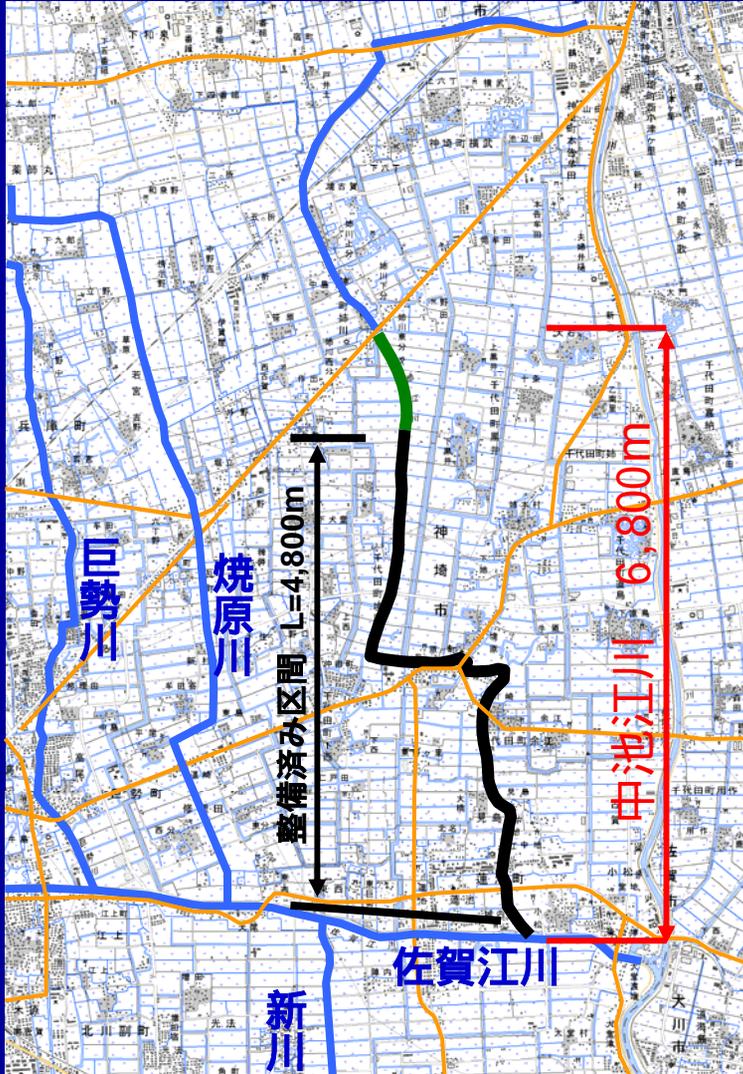
平成14年度完了

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	240 ~ 15 m ³ /s
事業延長	5,300 m
築堤	5,205 m ³
掘削	570,000 m ³
護岸	2,418 m
道路橋	7 橋
樋管	15 基
全体事業費	79 億円

事業進捗状況

中池江川工区

位置図



標準横断面図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	70%
工事費	60%
用地及び補償費	96%

(事業費ベース)

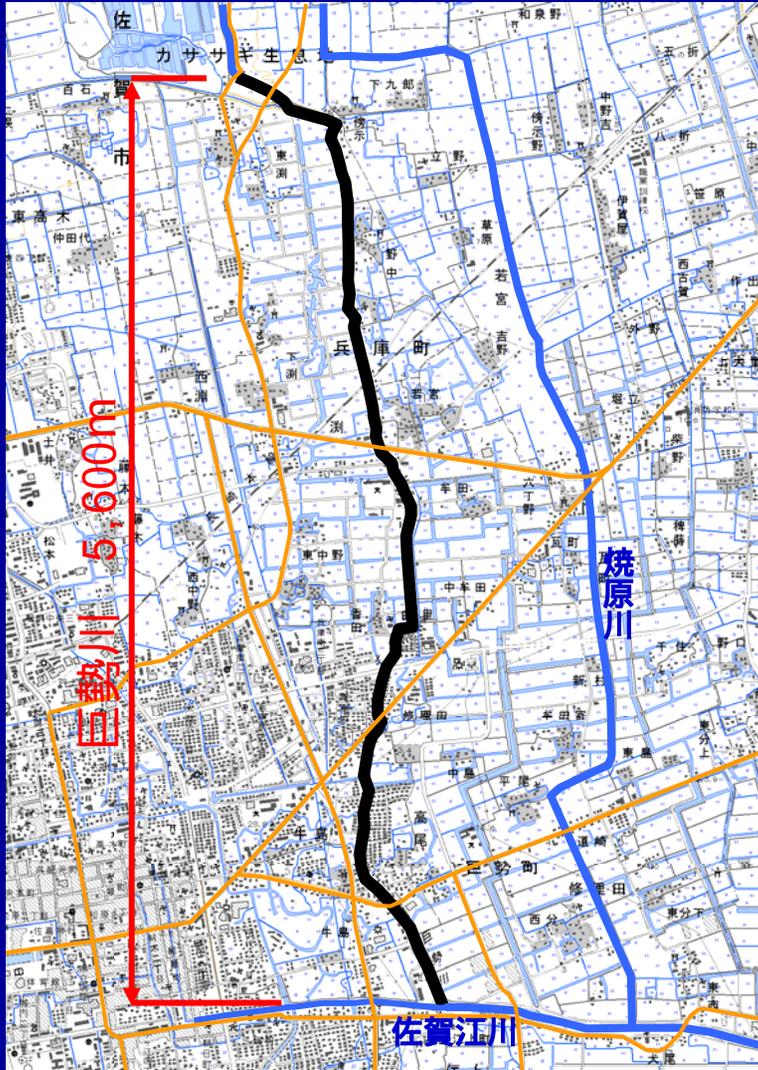
主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	60 m ³ /s
事業延長	6,800 m
築堤	5,730 m ³
掘削	183,600 m ³
護岸	13,580 m
道路橋	13 橋
樋管	18 基
井堰	3 基
全体事業費	148 億円

完了区間	——
未完了区間	——

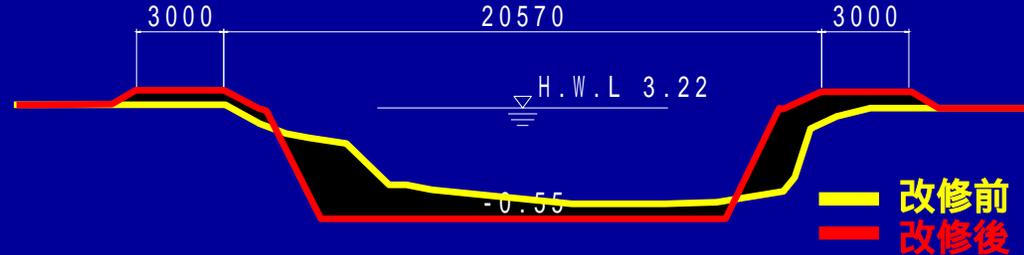
事業進捗状況

巨勢川工区

位置図



標準横断図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	99.7%
工事費	100%
用地及び補償費	98.9%

(事業費ベース)
平成20年度完了予定

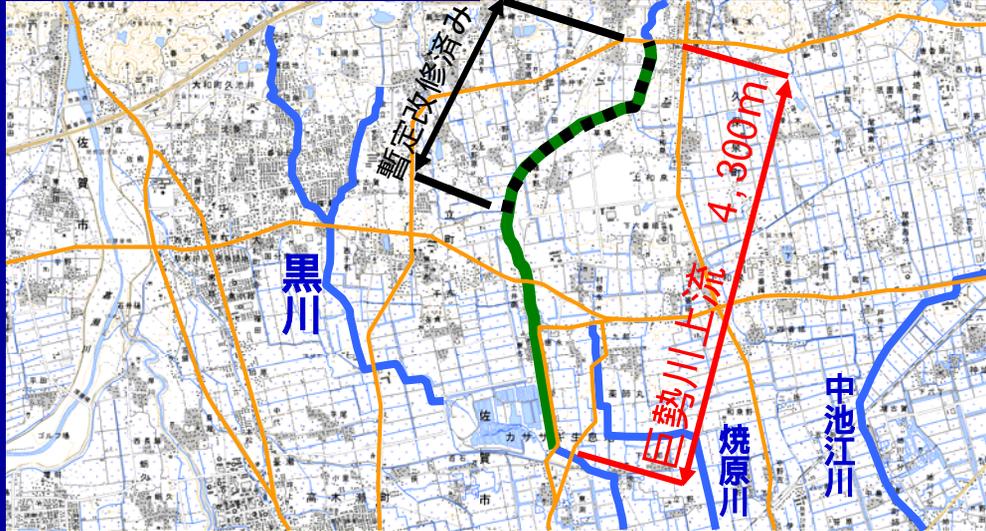
完了区間	
未完了区間	

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	80~70 m ³ /s
事業延長	5,600 m
築堤	9,833 m ³
掘削	227,770 m ³
護岸	9,703 m
道路橋	9 橋
樋管	5 基
井堰	3 基
全体事業費	108 億円

事業進捗状況

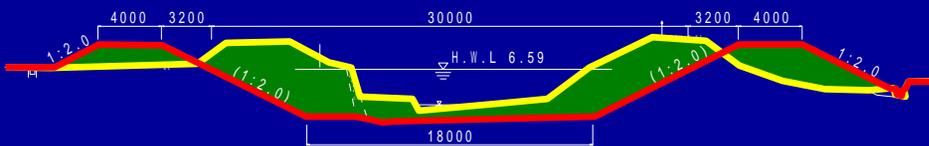
巨勢川上流工区

位置図



完了区間	
未完了区間	

標準横断面図



改修前
 改修後

事業概要

工種	進捗率
全体事業費	41%
工事費	32%
用地及び補償費	67%

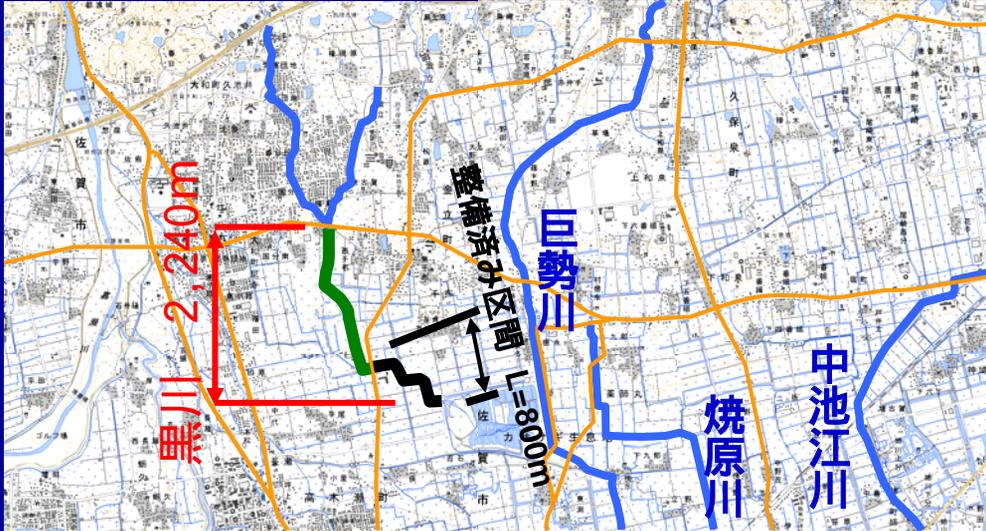
(事業費ベース)

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/50
計画流量	125 ~ 60 m ³ /s
事業延長	4,300 m
築堤	7,950 m ³
掘削	107,000 m ³
護岸	11,950 m
道路橋	4 橋
樋管	1 基
井堰	5 基
全体事業費	25 億円

事業進捗状況

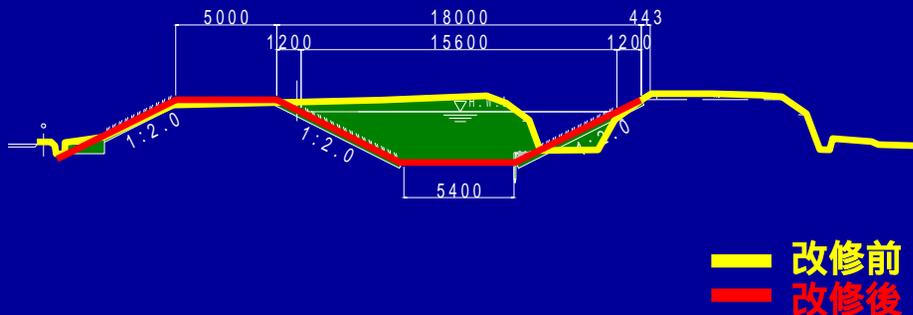
黒川工区

位置図



完了区間	
未完了区間	

標準横断面図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	56%
工事費	54%
用地及び補償費	88%

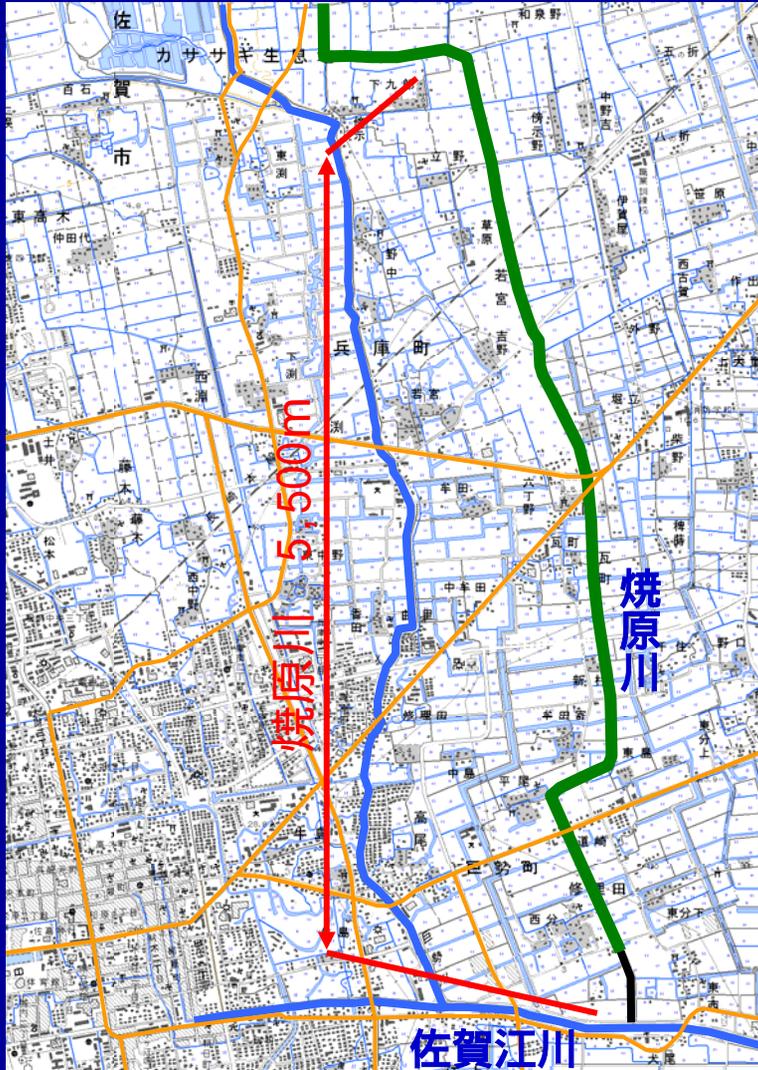
(事業費ベース)

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/30
計画流量	27 m ³ /s
事業延長	2,240 m
築堤	4,130 m ³
掘削	39,000 m ³
護岸	4,480 m
道路橋	4 橋
樋管	1 基
井堰	2 基
全体事業費	15 億円

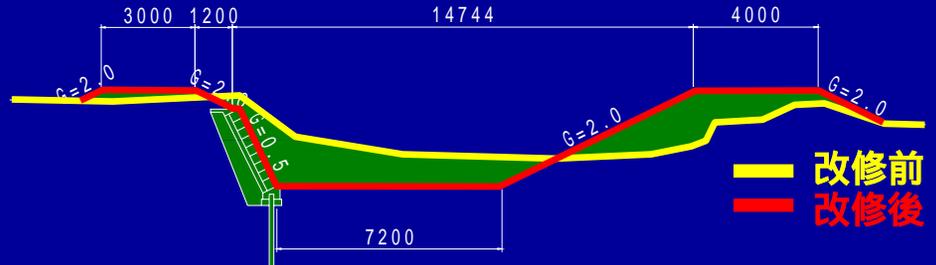
事業進捗状況

焼原川工区

位置図



標準横断図



事業概要

工種	進捗率
全体事業費	81%
工事費	83%
用地及び補償費	95%

(事業費ベース)

完了区間	
未完了区間	

主たる工種等	数量・金額等
治水安全度	1/10
計画流量	14~10 m ³ /s
事業延長	5,500 m
築堤	3,500 m ³
掘削	26,600 m ³
護岸	1,900 m
道路橋	13 橋
樋管	14 基
井堰	3 基
全体事業費	19 億円

中池江川の希少生物(植物)

絶滅危惧 類(VU) 【環境省レッドリスト】



アサザ

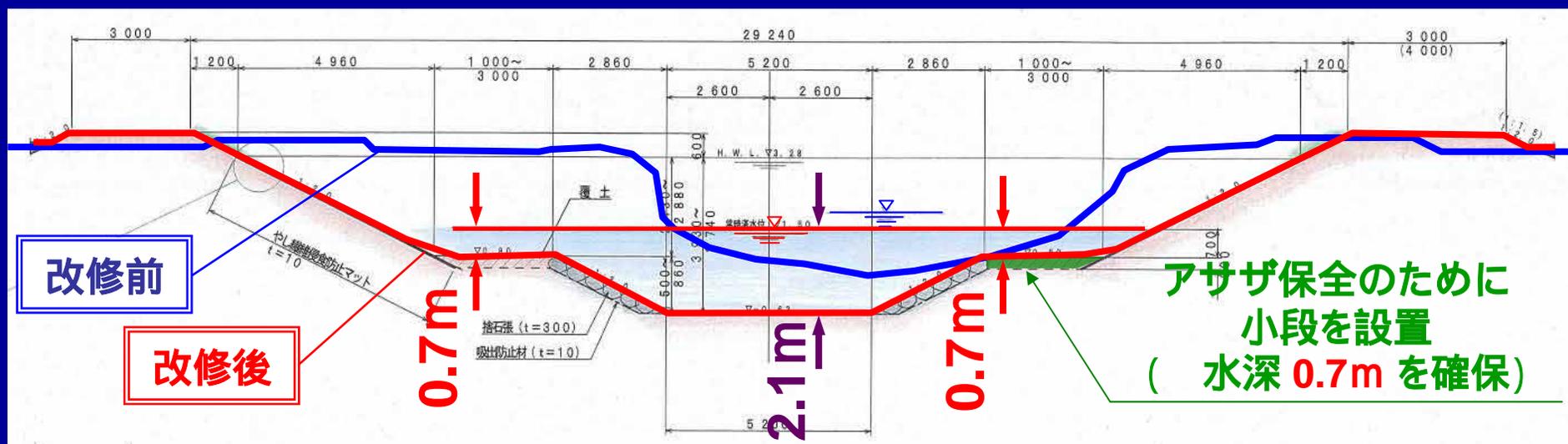
準絶滅危惧種
【佐賀県レッドリスト】



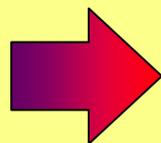
オグラコウホネ

絶滅危惧 類種
【佐賀県レッドリスト】

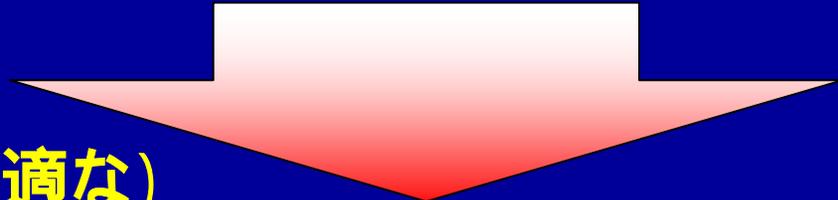
希少種の生育に配慮した横断計画(中池江川)



常時管理水位による水深 : 2.1m
(堰上げ水位)



アサザが
生息しにくい



(アサザ生育に最適な)

水深 0.7m を確保するため、小段を設けた複断面形

施工直後の状況(中池江川)



アサザ移植の
ための移植地

小段

費用対効果 B / C

総費用額 C : 治水施設の整備及び施設完成後50年間の維持管理に要する総費用

総便益額 B : 治水施設整備によってもたらされる施設完成後50年までの総便益額
(被害軽減額)

(総費用額 C 及び総便益額 B をそれぞれ現在価値化し比較する)



総費用 C : 106,582百万円

総便益 B : 539,284百万円

費用対効果 B / C = $539,284 / 106,582 = 5.1$

内訳

- ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産) 187,514百万円
- ・農作物被害(水稻、畑作物) 2,973百万円
- ・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等) 317,641百万円
- ・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等) 30,940百万円
- ・施設残存価値(護岸等構造物) 216百万円

過去の被害状況

佐賀新聞・朝日新聞記事より

昭和55年8月 梅雨前線豪雨

(連続雨量414.5mm、最大日雨量204mm、時間最大雨量37.5mm)



55. 9. /

朝日新聞

豪雨被害50億円にも 県下

死傷者は12人に
佐賀市街3日間水づけ

なせ水害か

調整池の建設が急務

約60cmの冠水

佐賀新聞

55. 9. /

県内各地の雨量	
観測所	雨量
佐賀市	204.0
唐津市	180.0
武雄市	150.0
大牟田市	120.0
杵築市	100.0
唐津市	80.0
武雄市	60.0
大牟田市	40.0
杵築市	20.0

近年の被害状況

平成2年7月 梅雨前線豪雨

(連続雨量380.5mm、最大日雨量285mm、時間最大雨量72mm)・・・気象台HPより



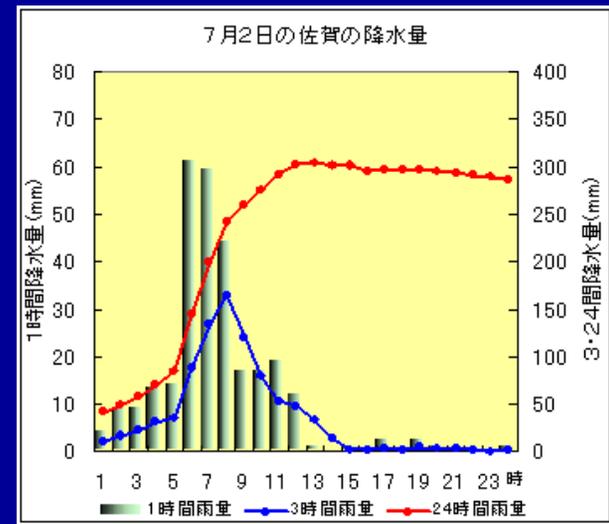
【巨勢川上流破堤状況】



【佐賀市街地浸水状況】



【巨勢川越水状況(学校橋)】



近年の被害状況

平成18年7月 梅雨前線豪雨



【巨勢川上流越水状況】



【佐賀江川状況(江上水位観測所2.73m)
佐賀江川はん濫危険水位3.00m】

平成20年6月 豪雨



【佐賀土木事務所前道路冠水状況】



【佐賀市街地浸水状況】(佐賀新聞HP抜粋)

未改修区間状況



【中池江川】(姉川橋上流区間)



【巨勢川上流】(念仏橋(佐賀外環状線)下流)



【黒川】(福島橋下流)



【焼原川】(国道34号上流)

改修済区間の状況



【佐賀江川】(公園西橋より上流区間)



【巨勢川】(JR橋より上流区間)



【中池江川】(佐賀市蓮池地内)



【八田江】(古江湖排水機場より上流区間)

改修済区間の状況



【新川】(佐賀環状自転車道より上流区間)



【黒川】(巨勢川調整池上流区間)



【巨勢川上流】(薬師丸橋より上流区間)



【焼原川】(薬師橋より下流区間)

佐賀江川 広域基幹河川改修事業の**継続**について

河川改修の**効果**

治水安全度の向上

昭和55年8月、平成2年7月等の洪水
による浸水被害の軽減

地域住民の安心・安全の確保

今後の事業展開

- ・事業を継続し、早期完成を図りたい